



男女共同参画チェックシート

- ☐ 来客にお茶を出すのは女性の仕事だと思う
- ☐ 「子どもはまだ?」「結婚はしないの?」と聞いたことがある
- ☐ 地域の集まりなどで女性が発言しにくい雰囲気がある
- ☐ 「女の子はおしとやかに」「男の子はしっかり」と指導するのは自然なことだ
- ☐ 妻ではなく夫が育児休暇をとるのはおかしいと思う
- ☐ パートナーの機嫌がいつも気になる、言うことは聞くものだと思っている

計画を読んで男女共同参画の視点で習慣やしきたりについて考え直してみましょう

男女共同参画社会とは？



男女共同参画社会基本法第2条では、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を負うべき社会」とされています。

男女共同参画社会はなぜ必要？

現在、社会情勢は少子高齢化社会の進展、労働力人口や生産年齢人口の減少、家族形態やライフスタイルの多様化など、急速に変化しています。社会全体でこうした変化に対応していくためには、これまで「男性は仕事、女性は家庭」といった性別に基づいて担ってきた立場や役割を変えていく必要があります。

そうすることで、職場や地域、家庭で男女が互いに協力する機会が増え、新たな生きがいを見出すことも多くなります。さらに、女性の就業拡大によって、多様な経験や価値観が反映され、これまでになかった新しい市場が開拓されることも期待されています。

このように、将来にわたり活力ある社会を築いていくためには、多様な価値観や生き方が尊重され、誰もがその個性や能力を発揮できる男女共同参画社会の実現が必要不可欠です。

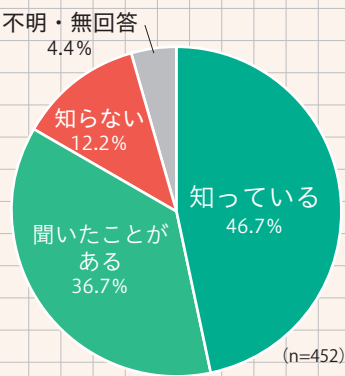
阿智村の現状と課題

令和3年度に、住民の男女共同参画に関する意識や実態を把握するためにアンケート調査を実施しました。

「男女共同参画」の認知度

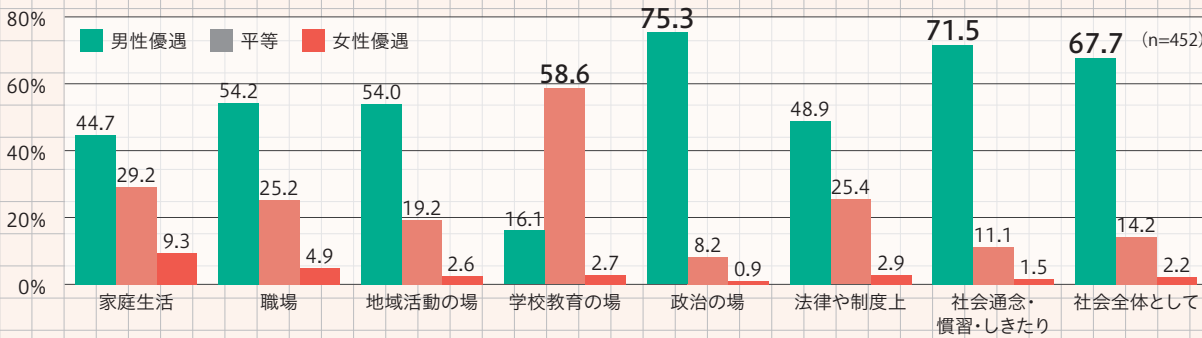
「男女共同参画」という言葉について「知っている」が約半数でした。一方で、1割近くの人が「知らない」と回答しています。

「共同」とは、二人以上で一緒に行うこと、同じ立場で関係すること。
「参画」とは、政策や事業の計画段階から主体的に関わること。



各分野における平等感について

「学校教育の場」では「平等」が高くなっていますが、全体的に「男性優遇」が高くなっています。特に「政治の場」「社会通念・慣習・しきたり」「社会全体として」では「男性優遇」が高くなっています。



住民の声

まず、政治で男女同数に。女性の政治参加が日本は低すぎる。

自治会、集落等の活動の会長はやはり男性である。

日本全体がまだ男性優位社会である。

※ アンケートやヒアリングでうかがった実際の意見を掲載しています。

固定的役割分担意識について

「男性は仕事、女性は家庭」という、性別によって役割を固定する考え方について、『反対派』が『賛成派』を上回っています。

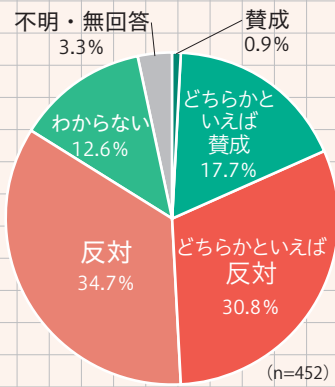
賛成派:「賛成」「どちらかといえば賛成」 反対派:「反対」「どちらかといえば反対」

住民の声

女性が家事育児をしている方が圧倒的に多い気がする。

フルタイムで働いても、家事はほとんど妻が負担している。

男性の育児休暇だけでなく、日常的にも休める環境をつくるべき。

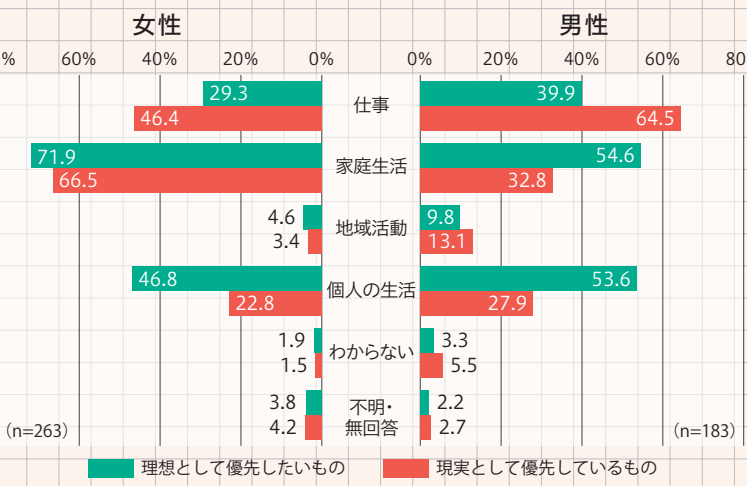


理想とする暮らし方について

男女ともに「個人の生活」で理想と現実に大きな差があります。また、特に男性で「家庭生活」の優先を希望していても実現できていない状況にあります。

住民の声

子どもを出産したとき、夫が育休を取ろうとしたが取れなかった。



企業によっては「男性は残業、休日にも出勤して外で稼ぐもの」といった考えの方々がおり、家事・育児に関与しにくいところもある。

平日は仕事、休日は消防、地域作業。家庭で過ごす時間をつくる方法を教えてほしい。

阿智村男女共同参画基本計画について

基本理念

阿智村は第6次総合計画において村づくりの理念を「暮らす、生きる。阿智家族 住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくり」と定めています。この理念を実現するためには、一人ひとりが尊重されるとともに、暮らしの質を高めたり、自己実現したりする権利や機会が保障される必要があります。その権利や機会は、性別にかかわらず保障されるべきものです。

しかし現状では生き方の選択や、行政、地域との関わり方は性別によって差があると言わざるを得ません。住民意識調査によると「社会全体において男性優遇」と感じている人は 67.7%に上ります。ヒアリング調査によると、「女性の声が軽く見られている」「仕事や地域活動をしたくても家庭との両立が難しく、望むようにできない」「地域で暮らしていながら子育て中に孤独を感じている」といった声がありました。

多くの人が多かれ少なかれ「女性だから」「男性だから」といった考えを無意識のうちに持っています。大切なことは学習したり、他者と話したりすることで、そういった思い込みに気づいていくことです。自らの人権と、自分とは違う立場の人たちの人権について理解を深め、すべての人の人権が尊重されることが必要です。また、多様な人が自分らしく暮らせるためには、家庭で担っている子育てや介護などを支える社会基盤を整備するとともに、地域活動のあり方や慣例、慣習を現状に合わせ変えていくことが必要です。

本計画は、行政が主体となって進めるものですが、男女共同参画社会は行政だけでは実現できません。住民と話し合い、住民の活動を支えながら、誰もが暮らしやすい社会を目指します。

計画の位置づけ

本計画は、「男女共同参画社会基本法」第14条第3項に基づく「市町村男女共同参画計画」です。また、「女性活躍推進法」第6条第2項に基づく「市町村推進計画」、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」第2条の3第3項に基づく「市町村基本計画」としても位置づけます。

さらに、国の「第5次男女共同参画基本計画」及び県の「第5次長野県男女共同参画計画」を踏まえるとともに、「阿智村第6次総合計画」やその他の関連計画との整合を図り策定しています。

計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

基本目標



基本目標

1 家事・育児・介護における男女共同参画

家事や子育て、介護が仕事として認められていないと感じる。

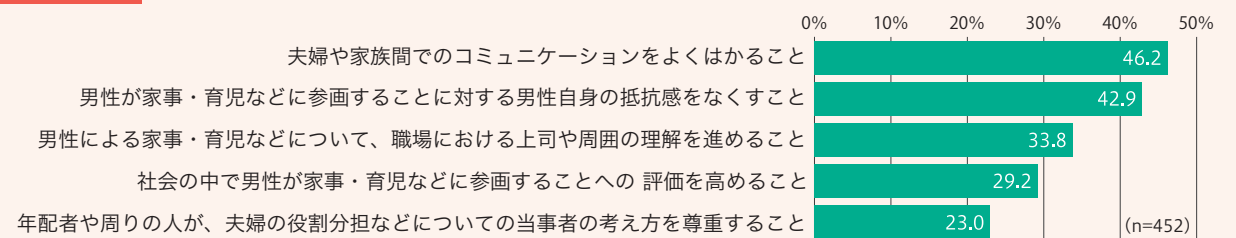
固定的性別役割分担意識

ひとり親なので、一人ですべてこなさなくてはならず、大変。

親世代と同居していると価値観の違いにより家事分担しにくい。

家族でのコミュニケーションが家事等の分担を円滑に。

アンケート結果 家事・子育て・介護等に男性が積極的に参画していくために必要なこと（各上位5位）



主な施策

- 男性が家事に主体的に関わるための学習・情報提供
- 男性が育児に主体的に関わるための学習・情報提供
- 学校におけるジェンダー平等教育の推進
- 性別役割分担解消に向けた学習会・啓発
- 高齢者世代の男女共同参画への理解推進
- ケア労働に関する学習・啓発

基本目標

2 出産・育児・子育てへの社会的サポート

夫の仕事が忙しく自分がやるしかなかった。

仕事から帰った後が戦場。

真っ暗なトンネルの中に一人であるみたいだった。

頼って良いと思えなかったし、頼る人もいなかった。

出産前後、子育てにおける女性の孤立

未満児保育の窓口では採用が決定しないと申し込めないとされたが、会社では未満児保育が決まらないと採用できないと言われた。

性教育を家庭や学校でどう進めたらいいのかわからない。

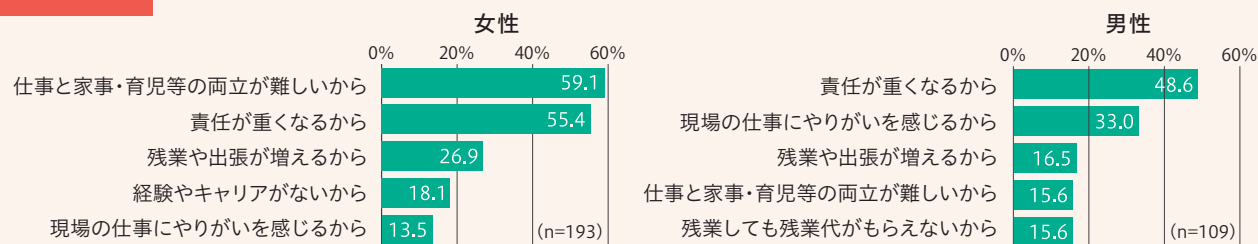
主な施策

- 産前から子育て中の親同士のつながりづくり
- 地域における女性のつながりづくり
- 養育者の状況に合わせた支援体制
- 子育てに関する情報提供の強化
- 子どもの育ちを保障するための制度の検討
- 家事サポート制度の検討
- 子育て支援体制の検討委員会設置
- 未満児保育の拡充
- 父親が子どもを連れて参加する場の設置
- 子育てに関する場への父親の参加促進
- 家庭で性教育をするための学習の場づくり
- 年齢に応じた性教育の保育園・小中学校で実施

3 男女のワーク・ライフ・バランスの実現



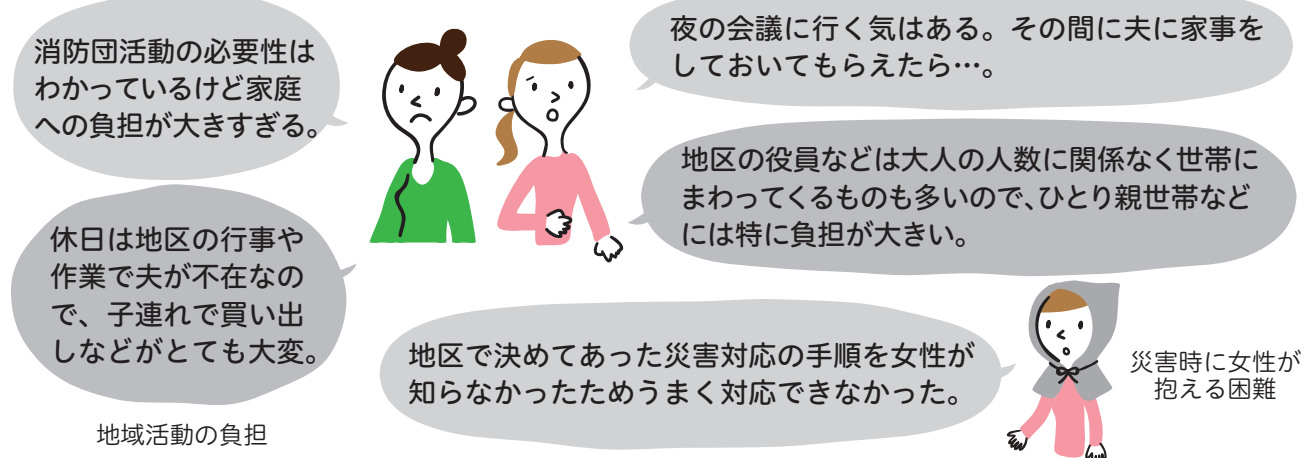
アンケート結果 管理・監督職への昇任を希望しない理由（各上位5位）



… 主な施策 …

- 職場内での休暇制度周知と情報提供
- 男女共同参画推進モデル企業
- 自らの将来設計作成の推進
- 民間企業への男性育休取得に関する啓発
- 男性育児休暇に関する啓発・学習会の実施
- 農林業における女性の活躍

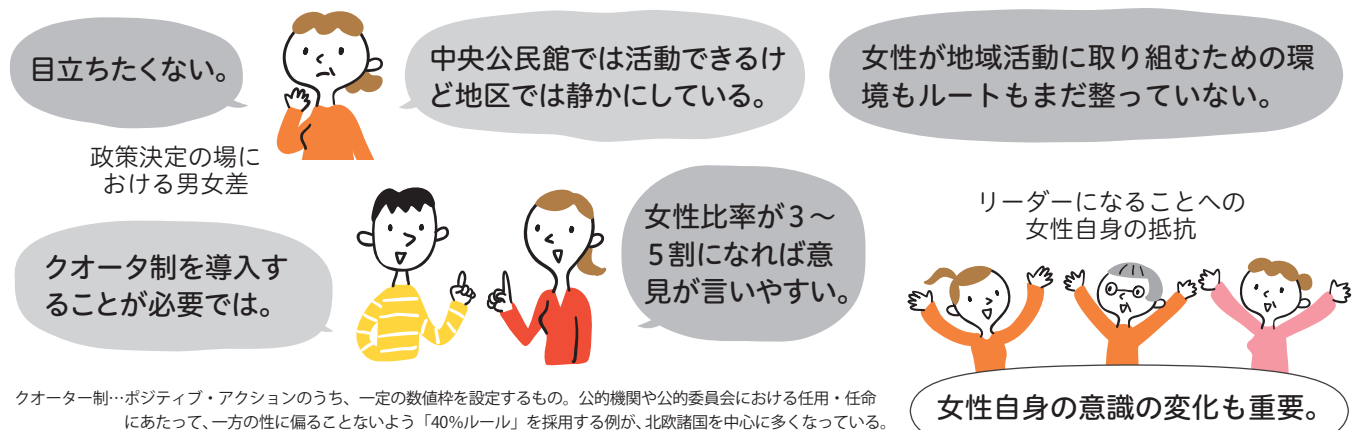
4 維持可能なコミュニティワーク・ライフ・バランスの実現



… 主な施策 …

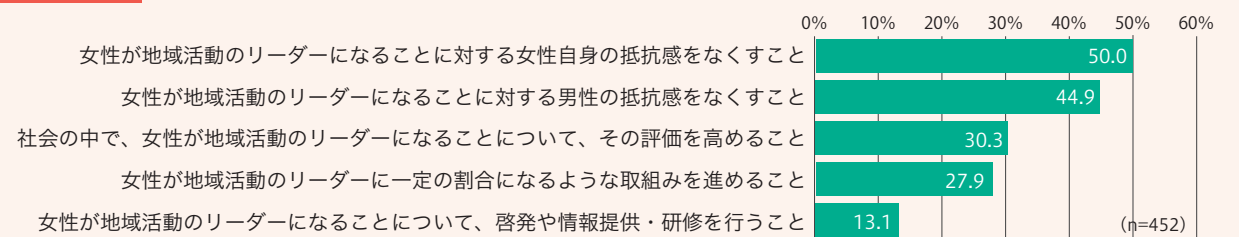
- 消防団の活動内容検討
- 女性の地域活動参画の機会創出
- 女性の参画が少ない分野の学習機会創出
- 男女共同参画の視点から自治会活動を検討
- 男女共同参画の視点から団体活動の活動再確認の提起
- 女性の自主防災組織への参画推進

5 男女共同参画による政策立案・決定



クオーター制…ポジティブ・アクションのうち、一定の数値率を設定するもの。公的機関や公的委員会における任用・任命にあたって、一方の性に偏ることないよう「40%ルール」を採用する例が、北欧諸国を中心に多く見られる。

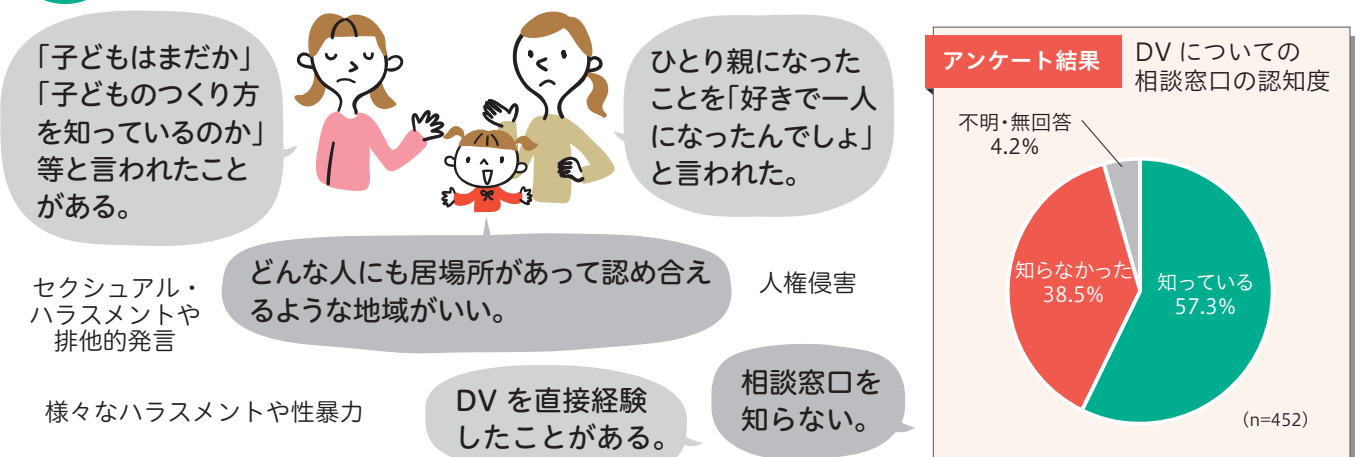
アンケート結果 女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと（各上位5位）



… 主な施策 …

- 審議会・委員会等への女性の積極的任用
- クオーター制度に関する学習会
- 男女共同参画の視点から団体役員の決め方を見直すことの提起
- 地域で活躍するための女性リーダー研修

6 ハラスメントのない地域・職場・学校・家庭に



… 主な施策 …

- 集落単位でのセクシュアル・ハラスメントに関する学習会の実施
- 事業者向けセクシュアル・ハラスメントに関する啓発
- 公的機関における第三者評価と研修の導入検討
- 学校教育における人権学習の実施
- DV 相談体制の充実
- DV 防止に関する情報提供
- 様々なハラスメントに関する相談窓口の周知
- 性の多様性への理解と尊重
- 人権や多様な生き方に関する学習会の実施
- デート DV に関する学習

住民の協働活動を支える行政・社会教育

村政懇談会は夜なので女性が参加しにくい。

村政懇談会や自治会の参加者はほとんどが男性で女性が発言しにくい。

阿智村社会教育研究集会で自分たちが地域課題について考え、行動することで現実が変わる。

婦人会において介護施設をつくろうと声を上げ、実現した経験は、女性議員を送り出す大きな力になった。

グループや団体で意見をあげても行政の返答が不十分。

… 主な施策 …

- 参加しやすい村政懇談会の実施
- 公民館における住民活動への積極的支援
- 村づくり委員会をはじめとする制度の活用
- 住民が取り組む男女共同参画への連携

計画の推進

推進体制を整備します

- ・合意形成を図りながら、分野横断的な施策に取り組むため、推進本部と役場内ワーキンググループを設置し、各施策を推進します。
- ・役場内においても全庁的に男女共同参画の視点を浸透させ、村が行うあらゆる施策が男女共同参画の視点に立って行われるよう努めます。

連携して計画を推進します

- ・行政は、男女共同参画の推進に関わる活動に取り組む住民や団体と連携し、ともに事業を進めます。

相談窓口一覧

困ったことや不安なことは、一人で悩まずご相談ください。

相談内容	相談先	日時	連絡先
児童家庭相談	阿智村子育て支援センター	月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前8時30分から午後5時15分	0265-45-1232
児童相談	飯田児童相談所	月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前8時30分から午後5時15分	0265-25-8300
女性相談 DV・離婚相談	飯田保健所 女性相談	月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前8時30分から午後5時15分	0265-53-0411
DV・児童虐待相談	阿智村子育て支援センター	月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前8時30分から午後5時15分	0265-45-1232
DV・児童虐待相談	飯田児童相談所	月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前8時30分から午後5時15分	0265-25-8300
DV・児童虐待相談	長野県児童虐待・DV 24時間ホットライン	毎日24時間	026-219-2413 189（児童相談所全国共通ダイヤル）
性暴力に関する相談	りんどうハートなごの	毎日24時間	026-235-7123
妊娠相談窓口	にんしん SOS なごの	毎日24時間	0120-68-1192 ninsin.sos@keiroen.or.jp

